

年頭あいさつ

新年あけまして
おめでとう
ございます



連合鳥取
会長 本川 博孝



新年あけましておめでとうでございます。組合員みなさまにはご家族お揃いで、健やかな新春をお迎えにいられたこととお慶び申し上げます。

そして、連合鳥取の運動に対しまして、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

昨年の国会は、民主主義の危機ともいえるべき状況が露呈しました。法案審議の強引さはもとより、公文書の改ざん・隠蔽といった事態が相次ぎ、法改正に伴う様々なデータの不備、閣僚の不適切な発言、そして官僚のセクハラ問題など、安倍政権の不誠実な対応が目立ちました。これらは暴力的ともいえる一強政治・長期政権の弊害にほかなりません。

今日の日本社会は、少子高齢化や人口減少社会による労働力不足という構造的な問題を抱え、長時間労働や過重労働が労働者の生命を危険にさらし、非正規雇用労働者の増大が格差や貧困をもたらし、将来の雇用や生活に対する不満や怒りが蔓延しています。

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

2019新春のつどい

- ◆日時 2019年1月18日(金)16時30分開会
- ◆場所 白兔会館 2F「飛翔の間」
- ※産別を通じてご案内しています。

2019春季生活闘争開始宣言集会

- ◆日時 2019年2月2日(土)13時00分～
- ◆場所 まなびタウンとうはく
- ◆内容

- 1.講演①
・演題 地域春闘の重要性について(仮称)
・講師 連合本部 内田 厚副事務局長
- 2.講演②
・演題 第25回参議院選挙情勢について
・講師 連合本部政治センター 井村和夫事務局長
- 3.連合鳥取2019春闘方針提案&意見・討論
- 4.闘争開始宣言
- 5.団結がんばろう

※産別を通じてご案内しています。



今、必要なことは、労働者・生活者の視点での経済の成長であり、誰もが安心して働き続けられる環境を整える事です。雇用や生活に不満が渦巻いている現状こそ、労働運動が労働者・生活者の頼りになる存在として積極的に行動し、その期待に応えていかなければなりません。

今年、「統一地方選挙」と「第25回参議院選挙」が重なる12年に一度の極めて重要な年になります。連合鳥取が推薦するすべての立候補予定者の必勝に向け、最大限の取り組みを進めなければなりません。

当面する2019春季生活闘争では、2014年から4年からの賃上げを継続させ、すべての労働者・生活者の暮らしの「底上げ・底支え」「格差是正」、そして「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、一人ひとりが自らの生活と「政治」との繋がりを意識し、積極的に行動しなければなりません。

連合鳥取は、労働者・生活者の拠り所としてその力を結集し、さらなる運動の強化と、地域に顔の見える運動を進めてまいります。

2019年が組合員をはじめご家族のみならず、新年の「あいなさ」といいたします。

Action!

36

「36協定」を浸透させていこう!

「働き方」について

しっかり考えるきっかけにしよう!

3月6日は「36(サブロク)の日」
日本記念日協会でも正式に認定!!

中国吉林省総工会を招聘 交流を深める

連合鳥取は、国際化時代における労働分野の視野・見識を拡げる立場から、2000年より中国・吉林省総工会と友好協定を結び相互交流を行っています。

今年、郭景生(グオー・ジンション)副主席を団長とする5人の訪問団を12月9日(日)～13日(木)にわたり招聘しました。

一行は12月10日(月)には、連合本部に神津里季生連合会長を、鳥取県庁に平井伸治鳥取県知事をそれぞれ表敬訪問したのち、ホテルモナーク鳥取(鳥取市)において、連合鳥取企画委員会役員との「意見交換会」と「歓迎交流会」を行いました。



神津連合会長(左)と郭副主席



上/平井県知事(前列左から2番目)表敬訪問
左/意見交換会の様子
下/㈱TVC工場見学の様子

＜意見交換内容(抜粋)＞

- ・ 少子高齢化
- ・ 労働力不足対策
- ・ 労働者の民主管理
- ・ 春季生活闘争
- ・ 男女平等の取り組み
- など



翌12月11日(火)は、南部町にある、吉林省に自動車部品を供給している株式会社TVC(2018年度から連合鳥取加盟のJAM・NOKグループユニオンに加盟)の工場視察を行いました。

東・中・西地域協議会&女性委員会・青年委員会定期総会を開催

連合鳥取定期大会に続き、各地域協議会と青年委員会、女性委員会も「定期総会」を開催し、新年度をスタートさせました。

■東部地協「第25回定期総会」■ 12月5日(水)/白兔会館



■中部地協「第24回定期総会」■ 12月7日(金)/倉吉体育文化会館



■西部地協「第24回定期総会」■ 12月4日(火)/米子コンベンションセンター



■女性委員会第23回定期総会■ 12月8日(土)/倉吉未来中心



女性委員会では、定期総会の後に毎回「学習会」を開催しています。



《講演》
「オンリーワンの私」を知る
～職場のメンタルヘルスを考える～
講師：開業保健師 Being Prem
代表 長谷川 理恵 さん(写真上)

■青年委員会第28回定期総会■ 12月16日(日)/米子コンベンションセンター



連合 全国一斉集中労働相談ダイヤルを実施 「働き過ぎていませんか?～まずは、あなたの働き方を診断!～」



12月11日(火)、12日(水)の2日間、全国一斉労働相談ダイヤルを実施しました。連合鳥取では、働く人の身近なセーフティネットとして、フリーダイヤル(0120-154-052)で、通年的に、組合員以外の方からの労働相談を受けています。

〈街宣の様子〉



2019 連合鳥取任務機構 -「第1回執行委員会 (2018.12.21) 確認」-



会長	本川 博孝											(◎局長 ○事務局)
副会長	澤田 陽子	林 大介	松崎 浩哉	桑村 紀幸								
事務局長	田中 穂											
副事務局長	吉田 正	馬場 一憲	山田 秀之	佐貫 馨								
企画委員会	◎松崎 澤田 林 桑村 ○田中 西村 河村 若月 橋本 笠見 矢辺											
30周年記念行事PT (企画委員会と同じ/ただし、副事務局長は正規構成員)												
総務局	◎田中											
組織局	◎林 澤田 松崎 田中 ○吉田 馬場 山田 佐貫 西村 河村 奥山 井上											
非正規労働センター	(組織局と同じ)											
中小労働局	◎河村 林 廣澤 里田 ○吉田 馬場 山田 佐貫 西村 河村 奥山 井上											
中小共闘センター												
国民運動局	◎西村 矢田 鈴木 大庭 長屋 坪内 山田 佐貫 河村 奥山 谷本 門脇 和泉											
広報・教育局	◎若月 桑村 田中 ○吉田 馬場 山田 佐貫 河村 奥山 谷本 門脇 和泉 中嶋 逸											
男女平等局	◎澤田 桑村 野村 ○吉田 坪内 山田 佐貫 井上 廣澤 谷本 里田 鈴木											
女性活躍推進PT	(男女平等局と同じ)											
労働政策局	◎桑村 澤田 林 松崎 ○田中 吉田 馬場 山田 佐貫 西村 井上 里田											
政治センター	◎本川 澤田 林 松崎 桑村 ○田中 吉田 馬場 山田 佐貫 西村 河村 矢辺											
青年委員会	委員長/中嶋和 副委員長/梅田 大倉 高田 鳴海 事務局長/野口											
女性委員会	委員長/太田 副委員長/川口 寺田 事務局長/森											
地域協議会	東部地協 議長/橋本 事務局長/馬場 中部地協 議長/笠見 事務局長/山田											
	西部地協 議長/矢辺 事務局長/佐貫											

本年もどうぞ よろしく お願いします

連合2019春季生活闘争方針 (骨子) <第79回中央委員会/2018.11.30より> ~今こそブレイクスルー!すべての労働者の処遇改善と働き方の見直し!~

【概要】

- 2019春季生活闘争は、賃上げの継続による「底上げ・底支え」「格差是正」と「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現を同時に推し進めるとともに、働き方も含めた「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」に取り組み、「人的投資の促進」「ディーセント・ワークの実現」「包摂的な社会の構築」「経済の自律的成長」をめざす闘争である。
- 「経済の自律的成長」と「社会の持続性」を実現するためには、継続した所得の向上と将来不安の払拭による消費の拡大に加えて、労働組合の有無にかかわらず、一人ひとりの働きの価値が重視され、その価値に見合った処遇が担保される社会を実現していく必要がある。2019闘争はその足がかりを築いていく年と位置づけ、まずは中小組合や非正規労働者の賃金を「働きの価値に見合った水準」へと引き上げていくためにも、賃金の「上げ幅」のみならず「賃金水準」を追求する闘争を強化していく。
- 長時間労働を是正し、個々人の状況やニーズにあった多様な働き方を選択できる仕組みを整える。
- あわせて、賃上げと健全で安全で働きがいのある職場の実現が同時に推し進められるよう、取引の適正化の実現を社会に向けて発信していく。

【具体的な要求項目】

- ◆賃上げ要求
 1. 月例賃金
 - ①月例賃金にこだわり、賃金の引き上げをめざす。
 - ②組合員の個別賃金実態を把握し、ゆがみや格差の有無などを改善する。
 - ③賃金制度が未整備の組合/構成組織の指導のもと、制度の確立・整備に向けた取り組みを強化する。
 - ④月給制の非正規労働者の賃金/正社員との均等待遇の観点から改善を求めると。
 2. 規模間格差の是正(中小組合の社会横断的水準の確保)
 - ①賃金の絶対額を重視した月例賃金の引き上げ
 - a)賃金カーブ維持相当分(1年・1歳間差)を確保した上で、社会横断的水準の到達に必要な額を加えた総額で賃金引き上げを求めると。
 - b)賃金実態が把握できない場合/10,500円以上を目安に賃金引き上げを求めると。

◇賃上げ目標6,000円※+4,500円(賃金カーブ維持分)=10,500円
(※ 連合加盟組合平均賃金水準の2%相当額との差額を上乗せした金額)
 - ②賃金カーブ維持分の確保
 3. 雇用形態間格差の是正(非正規労働者の社会横断的水準の確保)
 - ①高卒初任給等との均等待遇を重視し、時給 1,050 円を確保する。
 - ②時給 1,050 円超の場合/正社員との均等待遇の観点から改善を求めると。
 - ③「都道府県別リビングウェイジ」を上回る水準めざして取り組む。
 - ④昇給ルールの導入・明確化の取り組みを強化する。
 4. 男女間賃金格差の是正
 - ①男女別・年齢ごとの賃金分布から問題点を点検し、改善へ向けた取り組みを進めると。
 - ②生活関連手当(福利厚生、家族手当など)の支給における住民票上の「世帯主」要件の廃止を求めると。
 5. 企業内最低賃金および初任給
 - ①企業内最低賃金を産業の公正基準を担保するにふさわしい水準で要求し、協定化をはかる。また適用労働者の拡大をめざす。
 - ②年齢別最低到達水準について協定締結をめざす。
 - ③すべての賃金の基礎である初任給について社会水準を確保する。18歳高卒初任給の参考目標値……172,500円
 6. 一時金
 - 年取確保の観点も含め水準の向上・確保をはかる。
- ◆「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直し
 1. 長時間労働の是正と均等待遇の実現
 2. 人材育成と教育訓練の充実
 3. 中小企業・非正規労働者等の退職給付制度の整備
 4. ワークルールの取り組み
 - ①改正労働基準法に関する取り組み
 - a)36協定の点検
 - b)労働時間管理・適正把握の徹底
 - c)事業場外みなしおよび裁量労働制の適正運用に向けた点検
 - ②すべての労働者の雇用安定と公正な労働条件確保の取り組み
 - ③障がい者雇用に関する取り組み
 - ④短時間労働者に対する社会保険の適用拡大に関する取り組み
 - ⑤治療と仕事の両立の推進に関する取り組み
 - ◆男女平等の推進
 1. 企業間における公正・適正な取引関係の確立に向けた取り組み
 2. 税による所得再分配機能の強化に向けた取り組み
 3. あらゆるハラスメント対策の法制化と差別禁止に向けた取り組み
 4. 医療・介護・保育サービスの人材確保に向けた取り組み
 5. 子ども・子育て支援の充実と待機児童の解消等の財源確保に向けた取り組み
 6. 教育の機会均等実現に向けた教育の無償化・奨学金の拡充に向けた取り組み

2019春季生活闘争 検索





湯原俊二

— 緑肥の想い —

明けまして おめでとうございます。

今年がみなさまにとって素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。

さて、安倍政権下で様々な法律が、作られたり改悪されたりしてきました。国民の知る権利を脅かし秘密の定義もあいまいな「特定秘密保護法」、今日までの日本の安全保障の在り方を変える違憲の「安全保障法制」、国民の内心の自由を侵害しかねる「共謀罪法」、成果主義により長時間労働が懸念される「働かせ方関連法」、刑法で禁じてきた賭博を合法化する「カジノ法」、外国人労働者を劣悪な労働環境で働かせ、外国人労働者の社会保障や家族の教育についても後から検討するという中身の無い「出入国管理法改正」、世界の流れに逆行し命のもとである水の管理を民営化し、水道料金の高騰を招きかねない「水道法改正」等々。

「野党は何でも反対する」といわれる方がおられますが、近年の実績では野党は、内閣が提案した法律案の8割に賛成しています。しかし、上記の法律のように国民の生活を危うくする法律には、反対をします。これ以上安倍政権の暴走を許さないためにも、春の県議選、夏の参議院選では仲間の候補者への支援をお願い致します。



“ザ・議員”

浜田 妙子

鳥取県議会議員

皆は一人のために

9月、12月の定例議会でロービジョンケアについて質問しました。治療では良くならない目の状態をロービジョンといいます。原因は網膜色素変性症、糖尿病網膜症、緑内障、加齢等。これまで症状が進むと見えづらくなり、仕事もやりたいことも、諦めざるを得なかったのです。

しかし今、残された能力を最大限活用するロービジョンケア外来が大学病院を中心に設置され、多くのみなさまを救っています。鳥取県に対象者が5~6千人はいるといわれます。

来春、鳥大医学部にも待望のケア外来が誕生します。

貴方の職場に該当者がいらしたら「仕事を辞める前にケア外来へ〜」と、仲間への愛の声掛けをお願いします。



11月定例会の一般質問の様子

森 雅幹

鳥取県議会議員

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

みなさまのご支援で、議会へ送っていただき16年、この間一貫して、働く者、弱い立場の人に寄り添う政治をめざし、地方政治および国政選挙にあたってまいりました。しかし、残念ながら国政では私たちの代表を国会へ送れていない状況が続き、結果的に安倍一強政治を赦しています。

この状況を変えていくため、この度、立憲民主党鳥取県連合の設立に参加し、一人でも多くの反自公・反共産の県民の輪を広げ、国民民主党と連携し、安倍政権打倒を果たしていきたいと考えています。

4月の県議選に3選の挑戦をいたします。連合の仲間の皆様のご支援をお願い申し上げます。



11月定例会で質問する

平成と令和

新年あけましておめでとうございます▼平成最後の正月を迎え平成という時代も残りわずかとなった。今年新しい元号になるがいったいどんな年になるだろうか。「平成」という私たちが生きてきた時代は情報技術が一段と進化し、社会に様々な影響をもたらした時代といえるだろう▼ただ、近年を振り返ると自然災害が目立ち、私は自然の恐ろしさを改めて実感している。実感すると同時に様々な災害に備えて自分はそのような対策をすればいいのかを考えるようになった。非常食や水は鞆にまとめて玄関先においておく。また、災害があった場合に大事なものは情報。そのために携帯ラジオと予備電池なども忘れないように準備している。その他にも救急セットや衛生品などもまとめている▼平成という時代が終わり、新しい時代に夢や希望を抱く一方で、いろいろな備えも大事なと感じている。

(ズーミン)

